



レストハウス営業中です！

旭山記念公園レストハウス営業中、今月からメニューを1品ずつ写真つきで紹介します。
8月は「スノーショット」、爽やかな味わいのソフトクリーム、写真はマスクメロン味。
レストハウスにて発売中、ぜひ一度お試しください！



生きものの多い年、少ない年

自然愛好家の間ではよく、「今年は〇〇(生物名)が多いね」「少ないね」という話題になります。
この「多い、少ない」、札幌圏内では、違う地域の人と話しても同じように感じる人が多いと思います。

今年の旭山はエゾゼミが多いと感じていますが、先日、市内別の地域にお住まいの方が、その方の地域でも今年はエゾゼミが多く、普段よりも市街地の近くで鳴き声が聞こえる、と話していました。

◎なぜ・・・「食物連鎖」

ある生物の多寡は主に、それ「が」食する動植物と、それ「を」食する動植物の増減により起こります。

Aという昆虫についてみると、A「が」産卵し幼虫が育つ植物Bの生育がよい年にはAの発生が多く、少ない年はその逆となります。

そのA「を」食する動物Cは、Aが多い年には増え、少ないと減り、さらにCを食する動物Dが、と、すべては「食物連鎖」でつながっていて、どれかの生物の増減が他の生物の数に影響を与えます。

別の要因として「気象条件」の変化があり、雪解けが早い遅いか、春先が暖かい寒い、冷夏かなどにより、気象の影響を受けやすいある生物だけが増えたり減ったりということも起こります。

しかしその場合でも、ある生物の増減は「食物連鎖」全体に影響を与えます。

◎「植物のサイクル」

植物は年により実(種子)のなる数が違い、豊作と凶作(無作)を繰り返します。

常に一定の数にすると捕食者が増え続けてしまい自らも減ってしまいますが、実りの少ない年を設けることで捕食者の数がコントロールされます。

「植物のサイクル」が生きものの数の増減の大元になっています。

◎一時的に減るのは問題ない、しかし

ある生物の数が減ってしまうことについてはもうひとつ、ゆゆしき問題があります。

「環境の変化」、つまり生物Aが食する植物Bが開発か何かで減ったり根こそぎなくなってしまう場合で(自然に減ることもあります)、そこではAの数も恒常的に減ったり、いなくなってしまうことすらあります。

ある生物の数が去年は少なく今年が多いという場合はさして問題はありますが、ずっと少ないまま多い年がやってこない場合は、地域の環境になんらかの変化があったことが考えられ、注意が必要です。

◎旭山で今年多い生きもの、少ない生きもの

・多い＝ジョウザンミドリシジミ、エゾゼミ、テントウムシ、オニグルミの実

・少ない＝ウラギンスジヒョウモン、エゾヤマザクラの実

これらの生きものは何が理由で多かったり少なかったりするのかわかる、考えるだけでも楽しいですね。

さて、ミズナラの「どんぐり」、今年が多いか少ないか・・・

もうそんなことを話題にする季節になってきました。



今年が多い
エゾゼミ



まだ青いオニグルミの実－
今年は豊作
エゾリスもよろこぶ。

8月の「野鳥観察会」「自然観察会」

●「旭山野鳥観察会」毎月第2土曜日開催、今月は8月11日(土)、来月は9月8日(土)です。

8時開始、参加費100円(保険代として)、双眼鏡無料貸出します。

●「旭山自然観察会」、毎月第3日曜日開催、今月は8月19日(日)、来月は9月16日(日)です。

9時開始、参加費100円、双眼鏡貸出あり、植物や昆虫観察を中心に「旭山都市環境林」を歩きます。

みなさまのご参加お待ちしております！

WANTED! ノコギリクワガタ

夏休みの旭山記念公園は昆虫採集の人が多く訪れます。
いちばん人気はクワガタ、旭山にもミヤマクワガタがいます。
しかし一方、ノコギリクワガタは旭山では見つかりません。
激レア?! そもそも旭山には住んでいない?!?!
旭山でノコギリクワガタを捕まえた方、ぜひ森の家までご一報を!
旭山の生物データに反映させていただきます。

市内別所にて撮影



ちなみに
カブトムシは
元々北海道に
いなかった
国内移入種
です。
(旭山にも
います)

8月の野鳥トピックス

野鳥についての詳しい情報はホームページの野鳥情報をご覧ください。森の家までおたずねください。

★コサメビタキとオオルリは仲良し! ? = コサメビタキ幼鳥が今年は学びの森付近に出ています。先日そこにオオルリ幼鳥もやって来ましたが、コサメビタキ幼鳥が動くと後について飛んで行き、コサメビタキが飛ぶとオオルリも後を追うということをしばらく繰り返していました。種を超えて仲良くなったようですね。

★ハリオアマツバメ = 7月中に何度か数羽の群れでやって来て上空を飛び、時々木の高さより低く降りて飛ぶこともあり。低空飛行時に聞こえる羽の音はまるでジェット機のような音です。なお、旭山では年によりハリオアマツバメが見られたりアマツバメだったり、両方同時に見られることはありませんが、この「入れ替わり」がなぜ起こるかは不明です。(ハリオアマツバメは写真右上)

★シマエナガ幼鳥 = 8月に入っても幼鳥2、3羽がいる群れが見られており、幼鳥は目にかかる黒い帯はなくなり目の後ろが黒ずんで見えるくらい。つり橋から栗の木デッキにかけての沢で見られる機会が多く、時間帯は特にいつ頃が多いということはありません。(シマエナガ巣立ち幼鳥は写真右下)



旭山ネイチャーミニフォトギャラリー 2018年8月



エゾリス、耳毛の短い夏毛



コサメビタキ幼鳥



シマヘビ



エゾサンショウウオ幼生



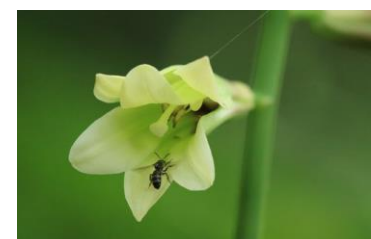
メスアカミドリシジミ雄



オオミズアオ(蛾)



園内でよく見る花ダイコンソウ



今年も咲いたオオウバユリ

編集後記

「旭山夏まつり」、8月7日、立秋の日に開催しました。
今年は噴水広場にブースを設け、バーニングペンお絵かき、花のコースター作り、ヨーヨーつり、昔遊びにポップコーン、子どもさんたちの笑顔あふれる1日でした。
その日だけ噴水も10mまで高く上がりました。来年も開催の予定です。



公式サイト

「アカゲラ通信」 第54号 2018(平成30)年8月10日発行

発行:(公財) 札幌市公園緑化協会 旭山記念公園管理事務所

住所:〒064-0943 北海道札幌市中央区界川4丁目

連絡先:電話011-200-0311(土・日・祝日10時~16時)FAX011-200-0351

<http://www.sapporo-park.or.jp/asahiya/>